

高松市立円座小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

とらえる つながる ひらく 円座っ子

【本校の現状と課題】

○学校の現状より

・昼休みには元気よく運動場で遊ぶ姿が見られるが、運動場が狭く、安全のために周囲に注意をしながら運動する必要がある。よって、思いっきり走ったり、ボールを投げたりすることが難しい。

・体育の授業において、1～4年は2学級ずつ運動場を使用しているため、広い場所を必要とする単元では十分な運動量を確保しにくい。

○「新体力テストの数値分析の結果」より

・昨年度より、体力テストの結果が下がっている。具体的には、8項目中、男子が5項目、女子が3項目の低下である。中でも、「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」は男女共通項目である。

・県平均値と学校平均値の比較を見ると、2年女子以外の項目で学校平均が低い。

【取組み】

活動の見直し

本校では、2学期に円座リンピック、冬に短縄跳び(カードを活用)とマラソン(業間に5回)、行っている。体力テストの結果を見る限り、これらの活動が全て、児童の体力向上に寄与しているとは考えにくい。

無駄なもの、効率が悪いもの、回数を増やしたほうが良いもの等、1年間取り組む中で、体育的活動を精選したい。

新体力テストの分析

本校の職員全員で、円座小学校の体力について考える時間を確保する。

円座小学校の児童に体力面において課題があることを全教員が危機に感じ、向上させようという共通理解を図ることが大切である。

また、新体力テストを実施する際には、昨年度の自分の結果を省みて、目標を立てた上で実施させる。

kagawa 体力番付の活用

今年度から始まった標記の活動に学校全体で取り組み、運動場で遊ぶ以外に、体力を高められる場所と時間を確保する。

体育委員が積極的に周知することで、児童自らが自身の体力を高めたいという意識をもてるようにする。

【目標】

①「新体力テストの数値における目標」(R8年度の結果で…)

- ・全項目の平均値の向上を目指す。
- ・8種目・6学年・男女の項目の中で県平均を上回る項目を10以上増やす。(現在は36、全部で96)

②「運動に対する意識・運動習慣における目標」

- ・昼休みの外遊び実施率95%以上にする。
- ・体育の授業が好きと答える児童の割合を、90パーセント以上にする。